

神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)



くさか景子の

No. 61

県議会報告

2012. 6

ちよっ

と よろしいですか!

と



茅ヶ崎市津波ハザードマップ改訂!

家庭向けハンドブック作成・市民説明会も開催

東日本大震災を受け、県が新たに作成した津波浸水予想図をもとに、津波の影響が及ぶ最大級の範囲や避難場所を記したマップと各家庭で避難先や経路を確認してもらうための別冊のハンドブックを茅ヶ崎市が作成しました。従来版との大きな違いは、津波が海岸沿いの国道134号線を超える点です。

第1回目の説明会に参加された市民からは、海岸沿いの小中学校における津波の危険性が問題視されており、防波堤のかさ上げ工事の要望や、防災無線の聞き取りにくさ、また、地震が起きた時には、液状化や火災も同時に起きる可能性もあり、避難場所が近くにない地域もあるなど、今後は総合的な防災訓練の必要性等、深刻な問題点の指摘や切実な質問が多く出されました。市は今回の質問とその回答について6月中旬にHPで公開する予定です。マップの見やすさや使いやすさについても市民からの意見を取り入れ、より利便性の高いものにするとのことで、7月には全戸配布する予定です。

茅ヶ崎市の食品放射能測定室へ行く!

市内夏みかんの放射能セシウム微量検出

市は、国の消費者庁の補助金で放射能測定装置を購入、この3月5日から測定を開始、市民が持ち込む食品の放射性物質濃度を測り、公表しています。5月2日までに81件、持ち込みは主に野菜、米、果物類で、これまでに筍に微量のセシウムを検出しています。

私は、市内購入の夏みかんを持ち込み、分庁舎片隅の倉庫だった検査室を訪ねました。夏みかんを細かく刻みミキサーで攪拌、1キロの量を検査機に入れ、約17分待ちます。結果は、明らかに福島原発事故の影響でセシウム134と137と合わせると15ベクレルくらい出ました。基準値以下なので心配ないのですが、柑橘類、きのこ、筍は微量の数値が出ます。

市民の関心が薄れたのか、一日平均2件の検査なので、これからは、市から出向いてスーパーなどで食品を購入し測定するという事です。

今後は給食食材の検査も行い、子どもたちの食の安全を守るための活用を望みます。



放射能測定器



夏みかんの攪拌作業



太陽光発電パネルをつけました！日下家の場合

神奈川県では、個人住宅の屋根への太陽光発電の普及拡大を図るため、「リーズナブルな価格で、安心して」設置する「かながわソーラーバンクシステム」を推進しています。

私の自宅も設置しようと3月、「かながわソーラーセンター」でプランを相談、地元業者が屋根の形状を調査、設置工事を2日間で終了しました。問題は、日下家は、築26年の古い家で、屋根をガルバリウムに葺き替えたばかり、屋根の補強がどの程度必要かに時間を要したのです。

結果、2.1kwh 13枚のパネルで128万円、国県市の補助金を受けて自己負担約100万円でした。以前よりは、安価で出来ました。4月分の1か月の電気使用量を見ると、昨年の4月約13,000円だったのが、今年は、7,890円、太陽光の余剰売電は4,746円、差し引き3,000円くらいの電気使用料となりました。つまり去年より1万円くらい安くなったわけです。年間で約10万円、100万円の元をとるのは、約10年かかるかな…。そんな状況です。

パネルをつけると、普段の電気使用が気になり、節電を意識するようになりました。電気料金の値上げもかんがみ、迷っている方、今夏、皆さんも設置しませんか？ローンもあります。



日下家に設置された太陽光パネル



くさか景子のほっとコラム

「全国フェミニスト議員連盟」の共同代表になりました！

日本の政策決定の場である議会にあまりにも少ない女性議員を増やしていくため、1992年全国の市民や議員がつくった組織です。全国の会員約200人です。今年20周年を迎えるフェミ議は、フェミニズムに根付いた政治と市民の活動を支援しています。

日本の女性国会議員の割合は11%、神奈川県議会も13%です。災害復興や経済の立て直しなどの課題を解決するためにも、もっと女性の政治参加が必要です。応援してください。



全国フェミニスト議員連盟総会にて